



# 2021年3月期 第1四半期決算報告

2020年8月6日

株式会社 

1. 2021年3月期 第1四半期決算報告

2. 2021年3月期 通期見通し

## Q1実績

- 売上収益： 647億円
- 営業利益： ▲205億円

## 前年比

- 売上収益： 782億円減
- 営業利益： 298億円減
- 新型コロナ影響は甚大、全セグメントで減収、赤字へ

- 映像事業：422億円減収、116億円減益

行動制限や店舗休業等の影響によりデジタルカメラの販売台数は大幅減少

- 精機事業：322億円減収、154億円減益

特にFPD露光装置は、渡航制限で据付再開できず、Q1の売上計上はゼロ台

# 2021年3月期 Q1：連結売上収益・損益



単位：億円	20年3月期 Q1実績	21年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	1,429	647	▲782
営業利益	93	▲205	▲298
営業利益率	6.5%	▲31.7%	
税引前利益	107	▲192	▲299
税引前利益率	7.5%	▲29.7%	
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	82	▲135	▲217
当期利益率	5.7%	▲20.9%	
FCF	▲7	▲182	▲175
為替：USドル	110円	108円	売上収益への影響 ▲17
ユーロ	124円	119円	営業利益への影響 ▲3

5割超の減収により、当期利益・FCFは大幅に悪化

# 2021年3月期 Q1：セグメント別業績



単位：億円		20年3月期 Q1実績	21年3月期 Q1実績	前年比
映像事業	売上収益	673	<b>251</b>	▲63%
	営業利益	35	<b>▲81</b>	▲116億円
精機事業	売上収益	518	<b>196</b>	▲62%
	営業利益	103	<b>▲51</b>	▲154億円
ヘルスケア事業	売上収益	129	<b>103</b>	▲20%
	営業利益	<b>▲19</b>	<b>▲24</b>	▲5億円
産業機器・その他	売上収益	108	<b>95</b>	▲12%
	営業利益	2	<b>▲4</b>	▲6億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—
	営業利益	<b>▲29</b>	<b>▲44</b>	▲15億円
連結	売上収益	1,429	<b>647</b>	▲55%
	営業利益	93	<b>▲205</b>	▲298億円

各セグメントに配賦されない全社損益は、前期に計上した遊休地売却益38億円を除けば、23億円改善

注：産業機器・その他に属する半導体関連製品事業を精機事業に移管。20年3月期への遡及適用の結果、産業機器・その他から精機事業へ売上収益9億円、営業利益2億円を組替

# 2021年3月期 Q1：映像事業



単位：億円	20年3月期 Q1実績	21年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	673	251	▲422
営業利益	35	▲81	▲116
営業利益率	5.2%	▲32.3%	
レンズ交換式 デジタルカメラ	45万台	14万台	▲31万台
交換レンズ	74万本	22万本	▲52万本
コンパクト デジタルカメラ	27万台	5万台	▲22万台

## Q1前年比：

- 中国は足元前年度並みに回復、その他の地域も4月をボトムに徐々に回復傾向は見られるものの、ロックダウン等による行動制限や店舗休業等の影響は大きく、全てのカテゴリで販売台数が大幅に減少
- 販売経費等の抑制に努めたものの、減収幅が大きく、第1四半期として初の赤字

# 2021年3月期 Q1：精機事業



単位：億円	20年3月期 Q1実績	21年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	518	196	▲322
営業利益	103	▲51	▲154
営業利益率	19.9%	▲26.0%	
FPD露光装置	9台	0台	▲9台
半導体露光装置 新品／中古	6/1台	2/1台	▲4/±0台

## Q1前年比：

- FPD装置事業では、2月以降中断している据付作業が6月中に再開できず、装置の売上計上なし
- 半導体装置事業では、前期から据付を継続していた装置は売上計上したものの、一部装置が前期に前倒しで据付完了した影響も重なり、販売台数は大幅減少

# 2021年3月期 Q1：ヘルスケア事業



単位：億円	20年3月期 Q1実績	21年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	129	103	▲26
営業利益	▲19	▲24	▲5
営業利益率	▲14.7%	▲23.3%	

## Q1前年比：

- ロックダウン等による2月からの受注減少の影響で、生物顕微鏡、網膜画像診断機器ともに減収減益。生物顕微鏡は、米州中心に販売台数を減らし、網膜画像診断機器は主力の欧米市場の回復遅れの影響を大きく受ける

# 2021年3月期 Q1：産業機器・その他



単位：億円	20年3月期 Q1実績	21年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	108	95	▲13
営業利益	2	▲4	▲6
営業利益率	1.9%	▲4.2%	

## Q1前年比：

- 産業機器事業を中心に、前期末から続く顧客の投資後ろ倒しや新型コロナウイルスによる販売活動の制約、納入延期の影響等が重なり、減収減益

1. 2021年3月期 第1四半期決算報告

2. 2021年3月期 通期見通し

売上収益  
4,200億円

● **全社見通し：前年比1,710億円減収**

- **映像事業**：市場縮小にコロナ影響が重なり、販売台数の大幅減を想定、958億円（▲42.4%）減収
- **精機事業**：半導体の顧客からの受注の谷とFPDの据付作業停滞が重なり、700億円（▲28.6%）減収

営業利益  
▲750億円

● **全社見通し：前年比817億円減益**

- **映像事業**：事業運営費削減を進めるも、市場縮小にコロナ影響が重なり、229億円減益の▲400億円の赤字
- **精機事業**：コロナ影響が大きく、成長領域の開発増も重なった為、380億円減益の100億円の黒字
- **各セグメントに配賦されない全社損益**：更なる業績変動リスクに備え、200億円のリスクバッファー計上

健全性

● **当期利益見通し▲500億円を前提としても財務健全性は十分確保**

- **株主資本**：自己資本比率は期末以降も50%以上を維持する見通し
- **流動性**：現預金と運転資金調達枠の合計で4,000億円以上保持

株主還元

● **配当予想**：総還元性向40%以上（中計期間累計）の方針に基づき、年間配当20円（中間配当10円）

経営責任

● **役員報酬**：月例報酬は20年9月から当面の間、最大20%減額、21年3月期に係る賞与は全額不支給

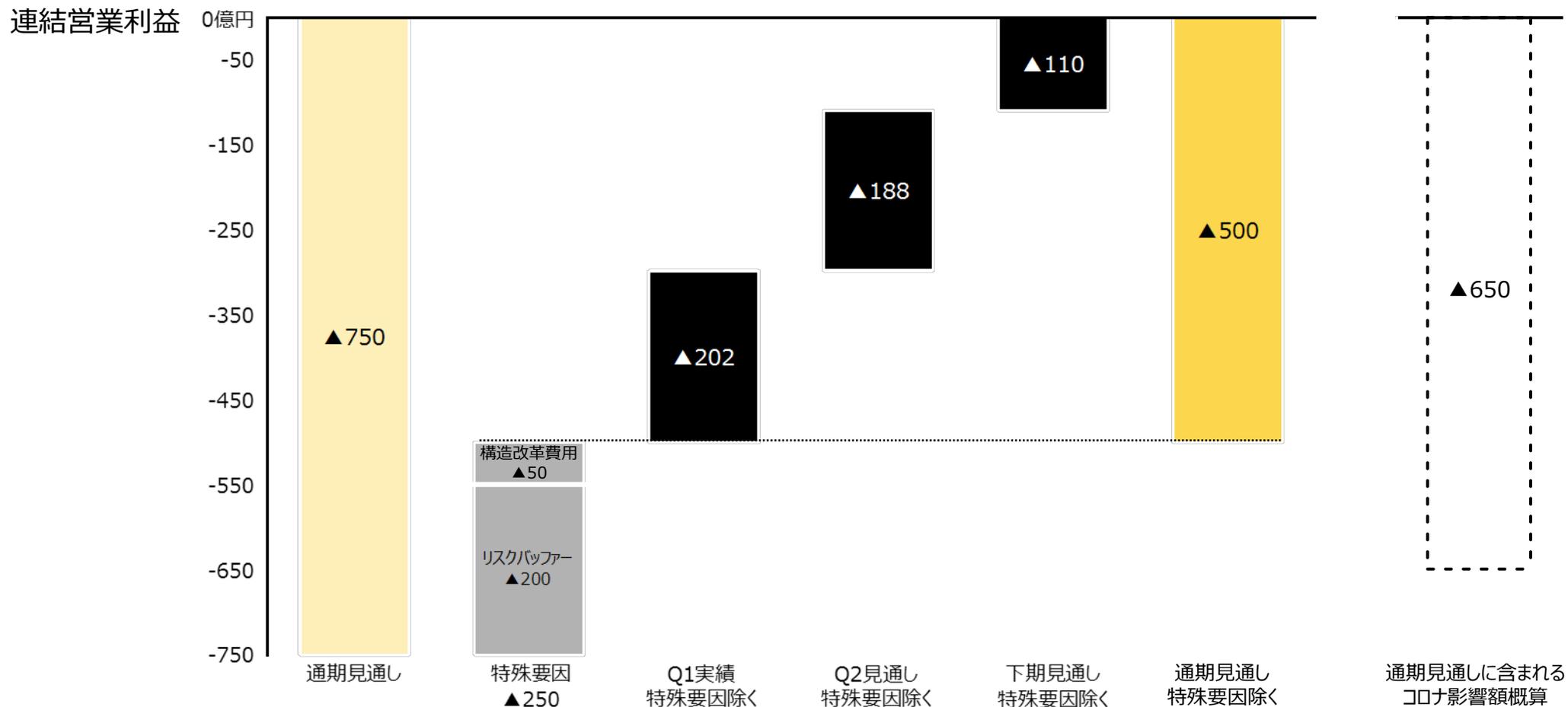
# 2021年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	20年3月期実績	21年3月期見通し	前年比
売上収益	5,910	4,200	▲1,710
営業利益	67	▲750	▲817
営業利益率	1.1%	▲17.9%	
税引前利益	118	▲700	▲818
税引前利益率	2.0%	▲16.7%	
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	76	▲500	▲576
当期利益率	1.3%	▲11.9%	
EPS	19.93円	▲136.19円	▲156.12円
年間配当	40円	20円	▲20円
FCF	▲48	—	—
為替：USドル	109円	106円	売上収益への予想影響 約▲90
ユーロ	121円	116円	営業利益への予想影響 約▲20

注：EPS（基本的1株当たり当期利益）＝当期利益÷期中平均株式数（20年3月期実績は約3.86億株で計算、21年3月期末見通しは20年6月末の期中平均約3.67億株で計算）、2021年3月期のFCFは未定

# 2021年3月期 通期見通し：営業利益内訳



特殊要因を除く営業赤字は500億円で上期中心の見通し、下期赤字は実質110億円まで縮小

注:特殊要因▲250億円のうち、構造改革関連費用▲50億円はQ1に▲3億円、Q2に▲7億円、下期に▲40億円に計上、リスクバッファー▲200億円は全て下期に計上

# 2021年3月期 通期見通し：セグメント別業績

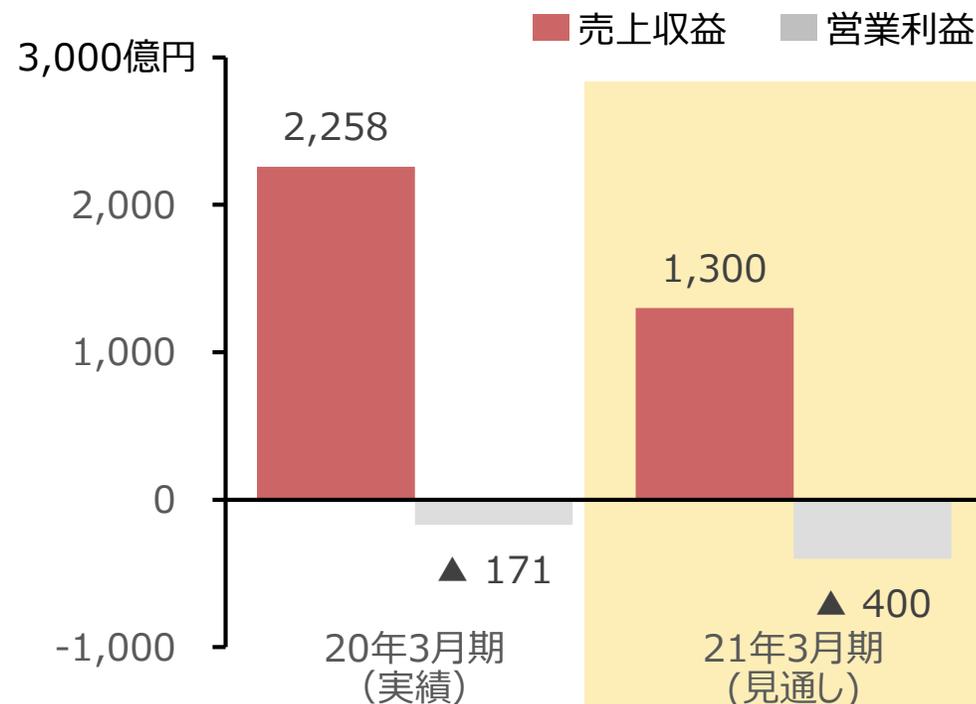


単位：億円		20年3月期実績	21年3月期見通し	前年比
映像事業	売上収益	2,258	<b>1,300</b>	▲42.4%
	営業利益	▲171 (▲144)	<b>▲400</b> (▲350)	▲229億円
精機事業	売上収益	2,450	<b>1,750</b>	▲28.6%
	営業利益	480 (480)	<b>100</b> (100)	▲380億円
ヘルスケア事業	売上収益	620	<b>570</b>	▲8.1%
	営業利益	▲24 (▲24)	<b>▲50</b> (▲50)	▲26億円
産業機器・その他	売上収益	580	<b>580</b>	±0%
	営業利益	18 (18)	<b>0</b> (0)	▲18億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—
	営業利益	▲236 (▲219)	<b>▲400</b> (▲400)	▲164億円
連結	売上収益	5,910	<b>4,200</b>	▲28.9%
	営業利益	67 (112)	<b>▲750</b> (▲700)	▲817億円

注：営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

各セグメントに配賦されない全社損益には、20年3月期に▲21億円のセグメント間取引消去および38億円の遊休地売却益、21年3月期には▲200億円のリスクバッファーを含む産業機器・その他に属する半導体関連製品事業を精機事業に移管。20年3月期への遡及適用の結果、産業機器・その他から精機事業へ売上収益53億円、営業利益13億円を組替

# 2021年3月期 通期見通し：映像事業



## ● 売上収益：前年比958億円減収

- 市場縮小に加え、コロナ影響により販売台数は大幅に減少  
6月以降回復基調にはあるものの、コロナ影響は期を通じて残る前提
- プロ・趣味層向け中高級機カメラで新製品を順次投入、  
ミラーレスカメラ用交換レンズのラインアップもさらに拡充

## ● 営業利益：前年比229億円減益

- 構造改革等による事業運営費削減を進めるが、コロナ影響を相殺するには至らず大幅減益
- 来期以降もコロナ影響が残る前提で、中計期間中に500億円を予定していた事業運営費削減額は600億円へ増額、事業運営費は前期250億円以上削減、今期は約150億円を削減予定
- 構造改革関連費用は前期27億円に対し、今期は下期中心に約50億円を計画

### レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

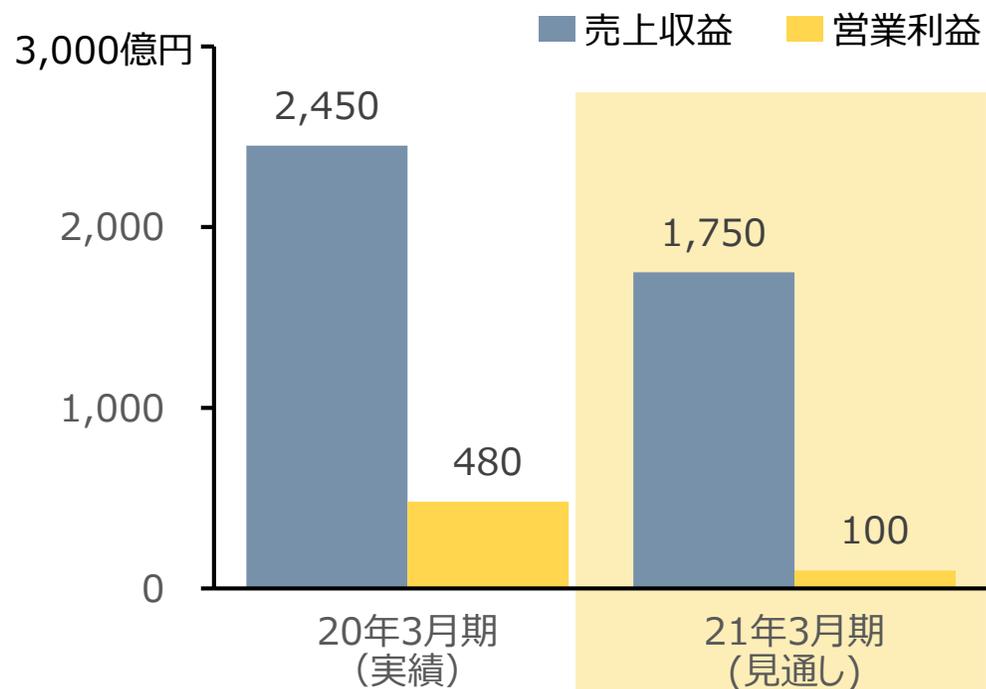
市場規模	792	480
ニコン	162	80

### 交換レンズ (万本)

市場規模	1,337	800
ニコン	265	130

### コンパクトデジタルカメラ (万台)

市場規模	619	290
ニコン	84	25



## ● 売上収益：前年比700億円減収

- FPD：中小型パネル用の設備投資は回復基調、また、大型パネル用の設備投資は堅調に推移
- FPD：2月から中断していた装置の据付は7月から一部再開したが、据付作業の制約により、今期中に据付完了出来る号機の台数は限られ、据付未完了号機の売上計上は来期に繰延
- 半導体：主要顧客の設備投資一巡に加え、一部顧客でコロナ影響による装置納入や受注遅延もあり、装置販売台数は大幅に減少

## ● 営業利益：前年比380億円減益

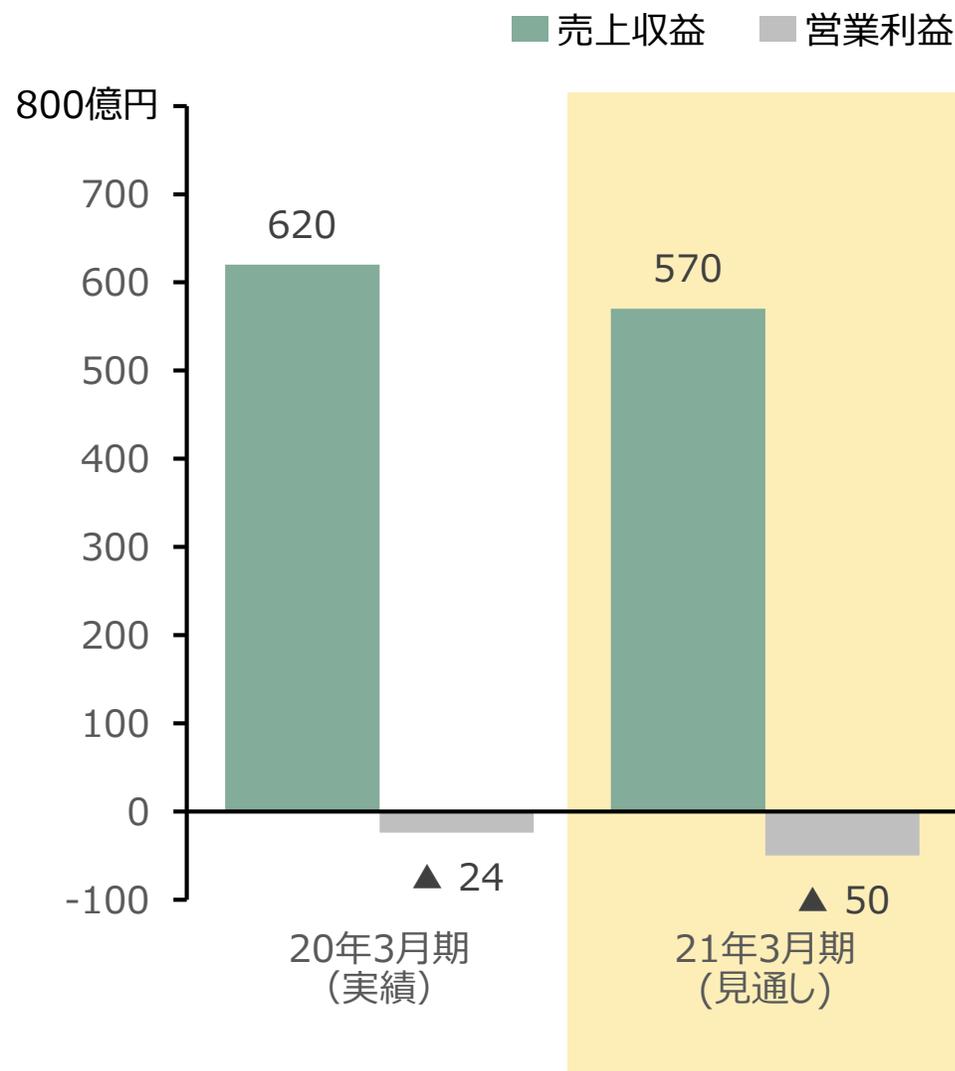
- FPD・半導体の減収影響に加え、成長領域の研究開発投資を大幅に増やしており、減益幅が拡大

### FPD露光装置販売台数 (台)

市場規模 (CY19/20)	90	55
ニコン	27	18

### 半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

市場規模 (CY19/20)	280	290
ニコン	34/11	19/10



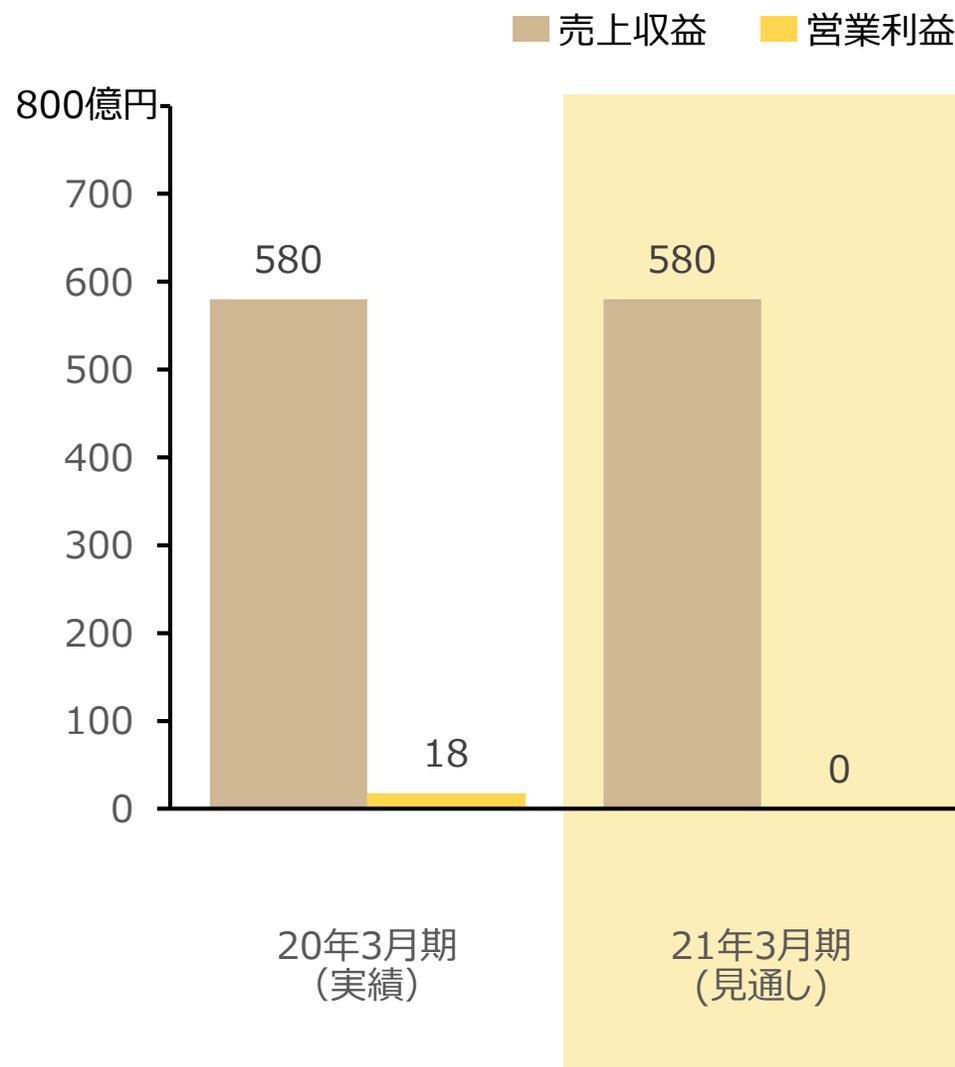
## ● 売上収益：前年比50億円減収

- 生物顕微鏡・網膜画像診断機器ともに受注活動再開により、下期は回復を見込むが、上期の減収影響が大きく、売上収益は前年を下回る
- 細胞受託生産事業は、計画通りに施設を拡張し、顧客とのプロジェクトも進展。再生医療関連の売上収益は前年比で増加

## ● 営業利益：前年比26億円減益

- 減収影響により赤字幅は拡大
- コロナ影響により、黒字化の達成は一年遅れて来期の計画

# 2021年3月期 通期見通し：産業機器・その他



## ● 売上収益：前年比変わらず

- 産業機器は下期の受注回復を見込むが、顧客の電子部品関連、自動車関連の設備投資の回復は遅く、大幅減収
- その他の事業では、デジタルソリューションズ事業が売上拡大

## ● 営業利益：前年比18億円減益

- 産業機器は減収影響により減益

# 參考資料

# 2021年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	18年3月期	19年3月期	20年3月期			21年3月期見通し		
	通期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	7,170	7,086	2,910	3,000	5,910	1,650	2,550	4,200
営業利益	562	826	175	▲108	67	▲400	▲350	▲750
営業利益率	7.8%	11.7%	6.0%	▲3.6%	1.1%	▲24.2%	▲13.7%	▲17.9%
税引前利益	562	879	201	▲83	118	▲350	▲350	▲700
税引前利益率	7.8%	12.4%	6.9%	▲2.8%	2.0%	▲21.2%	▲13.7%	▲16.7%
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	347	665	163	▲87	76	▲250	▲250	▲500
当期利益率	4.8%	9.4%	5.6%	▲2.9%	1.3%	▲15.2%	▲9.8%	▲11.9%
EPS	87.76円	167.86円	19.93円			▲136.19円		
年間配当	36円	60円	40円			20円		
ROE	6.3%	11.2%	1.3%			▲10%		
FCF	902	435	▲48			-		
為替：USドル	111円	111円	109円	109円	109円	106円	105円	106円
ユーロ	130円	128円	121円	120円	121円	117円	115円	116円

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期の売上収益は83億円の控除後の金額

# 2021年3月期 通期見通し：セグメント別業績



単位：億円		18年3月期	19年3月期	20年3月期			21年3月期見通し		
		通期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	3,607	2,961	1,190	1,068	2,258	550	750	1,300
	営業利益	302 (360)	220 (226)	20 (22)	▲191 (▲166)	▲171 (▲144)	▲200 (▲190)	▲200 (▲160)	▲400 (▲350)
精機事業	売上収益	2,263	2,745	1,176	1,274	2,450	650	1,100	1,750
	営業利益	533 (533)	817 (817)	260 (260)	220 (220)	480 (480)	▲20 (▲20)	120 (120)	100 (100)
ヘルスケア事業	売上収益	568	654	300	320	620	220	350	570
	営業利益	▲32 (▲32)	▲19 (▲19)	▲12 (▲12)	▲12 (▲12)	▲24 (▲24)	▲50 (▲50)	0 (0)	▲50 (▲50)
産業機器・その他	売上収益	732	725	242	338	580	230	350	580
	営業利益	50 (78)	69 (75)	18 (18)	0 (0)	18 (18)	▲20 (▲20)	20 (20)	0 (0)
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	▲291 (▲291)	▲261 (▲256)	▲111 (▲94)	▲125 (▲125)	▲236 (▲219)	▲110 (▲110)	▲290 (▲290)	▲400 (▲400)
連結	売上収益	7,170	7,086	2,910	3,000	5,910	1,650	2,550	4,200
	営業利益	562 (649)	826 (844)	175 (194)	▲108 (▲82)	67 (112)	▲400 (▲390)	▲350 (▲310)	▲750 (▲700)

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期の売上収益は83億円の控除後の金額

営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

産業機器・その他に属する半導体関連製品事業を精機事業に移管。2020年3月期への遡及適用の結果、産業機器・その他から精機事業へ売上収益53億円、営業利益13億円を組替

# 2021年3月期 Q1: セグメント別業績



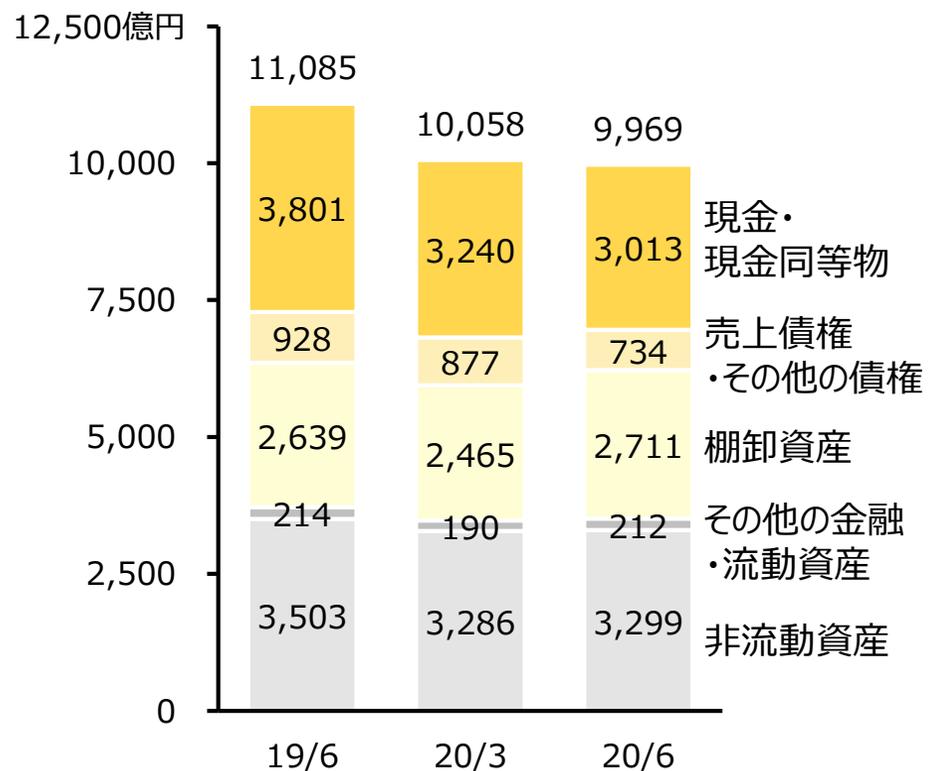
単位：億円		20年3月期				21年3月期
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
映像事業	売上収益	673	517	700	368	251
	営業利益	35 (35)	▲15 (▲13)	▲8 (▲2)	▲183 (▲164)	▲81 (▲78)
精機事業	売上収益	518	658	526	748	196
	営業利益	103 (103)	157 (157)	107 (107)	113 (113)	▲51 (▲51)
ヘルスケア事業	売上収益	129	171	165	155	103
	営業利益	▲19 (▲19)	7 (7)	▲4 (▲4)	▲8 (▲8)	▲24 (▲24)
産業機器・その他	売上収益	108	134	143	195	95
	営業利益	2 (2)	16 (16)	9 (9)	▲9 (▲9)	▲4 (▲4)
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—
	営業利益	▲29 (▲29)	▲82 (▲65)	▲63 (▲63)	▲62 (▲62)	▲44 (▲44)
連結	売上収益	1,429	1,481	1,534	1,466	647
	営業利益	93 (93)	82 (101)	40 (47)	▲148 (▲129)	▲205 (▲202)

注:営業利益の( )内数値は、構造改革関連費用を除いた値

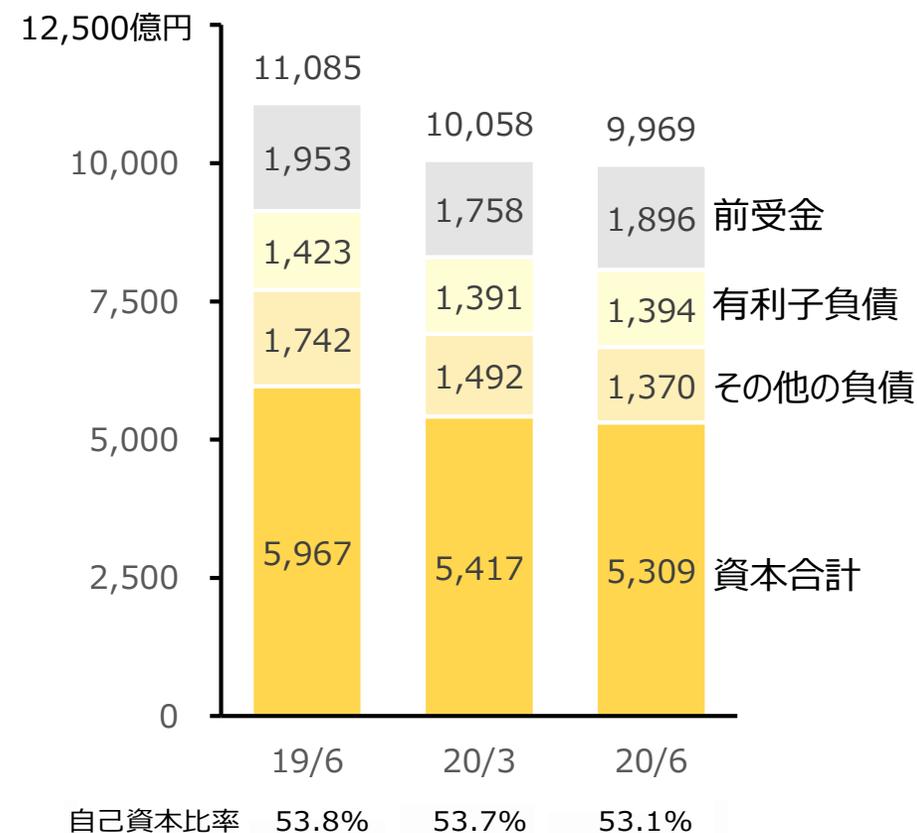
# 2021年3月期 Q1：財政状態計算書



## 資産

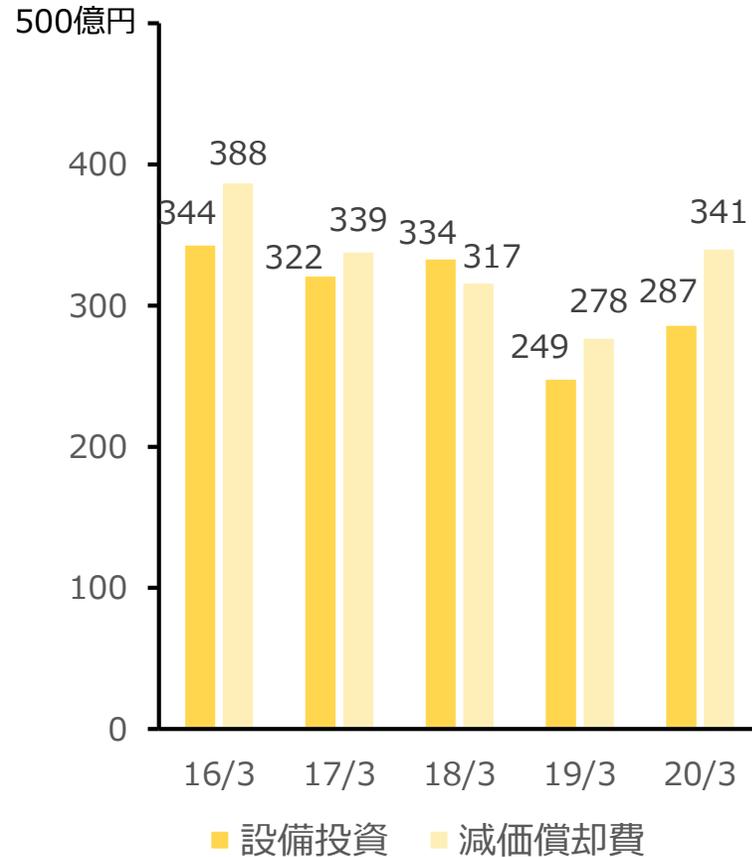


## 負債・資本

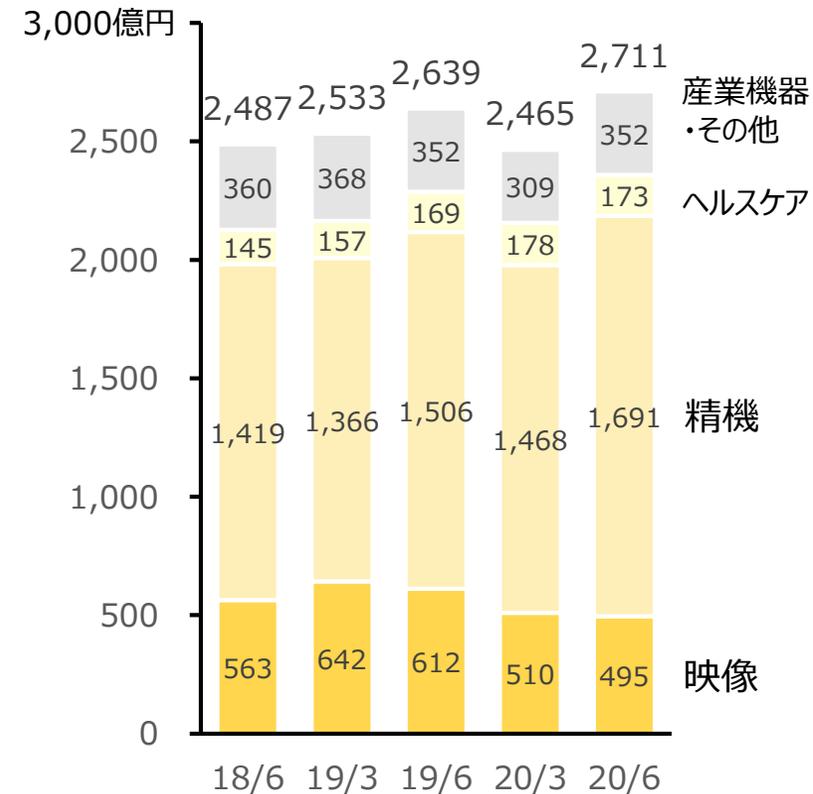


注：自己資本比率 = 親会社所有者帰属持分比率。現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

## 設備投資・減価償却費



## 棚卸資産



注: 「設備投資」 2020年3月期にはIFRS第16号適用によりリース資産約40億円を含めて表示、2021年3月期見通しは前期並みをベースに精査中の為、非開示

「減価償却費」 2018年3月期以降には仕掛開発費の償却も含めて表示、2020年3月期には設備投資と同様にリース資産約70億円を含めて表示

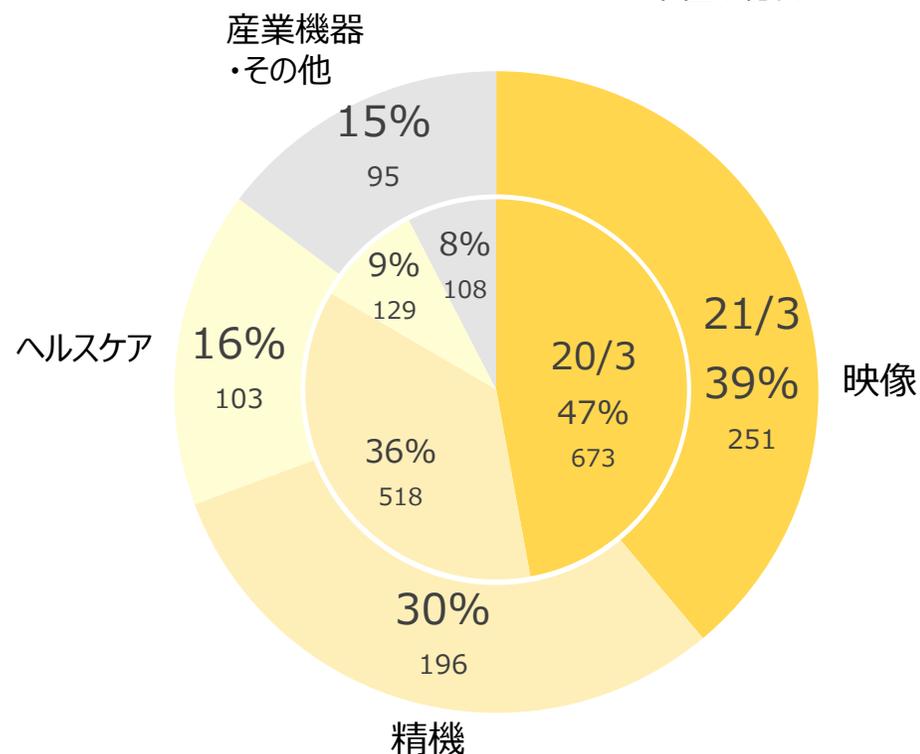
「棚卸資産」 産業機器・その他に属していた半導体関連製品事業を精機事業に移管し、2020年3月期への遡及適用した結果、2019年6月末で30億円、2020年3月末で26億円の残高を組替

# 2021年3月期 Q1 : 売上収益内訳



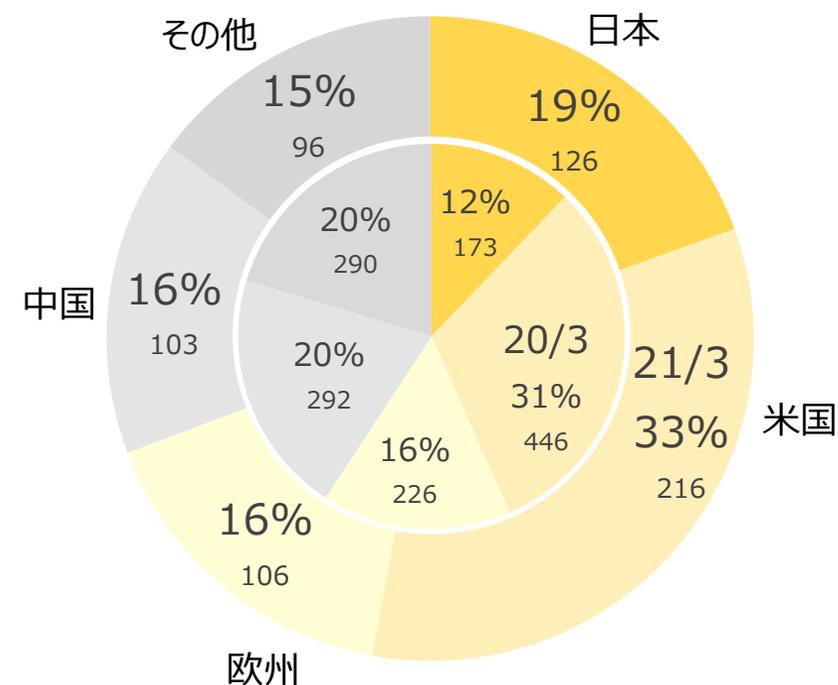
## セグメント別内訳

単位：億円



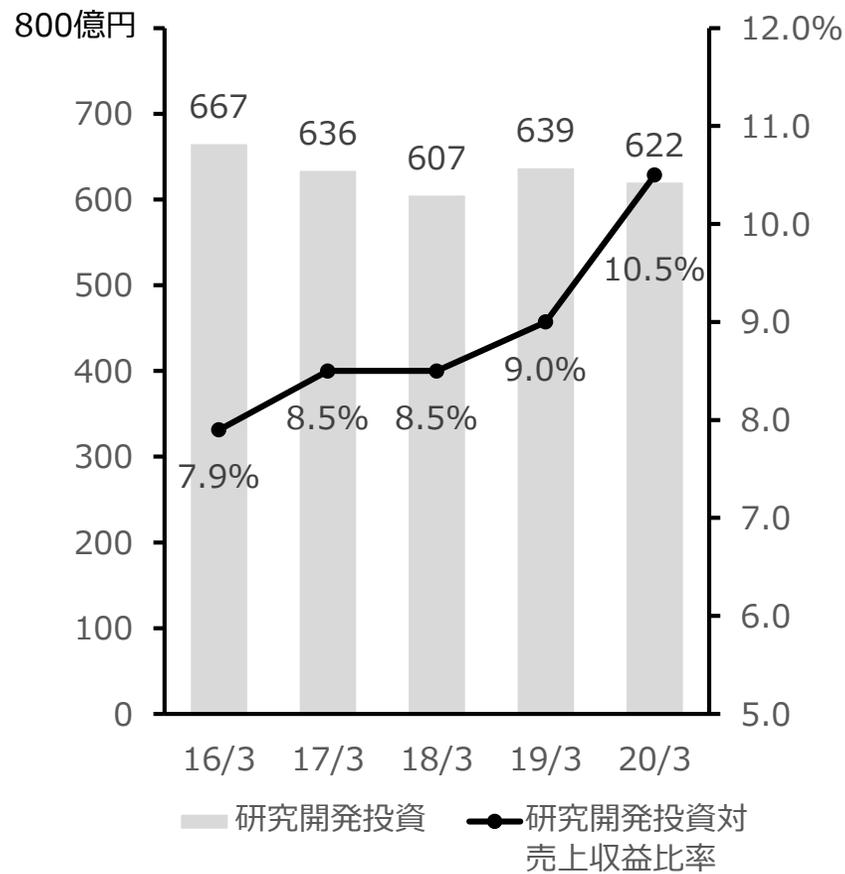
## 地域別内訳

単位：億円



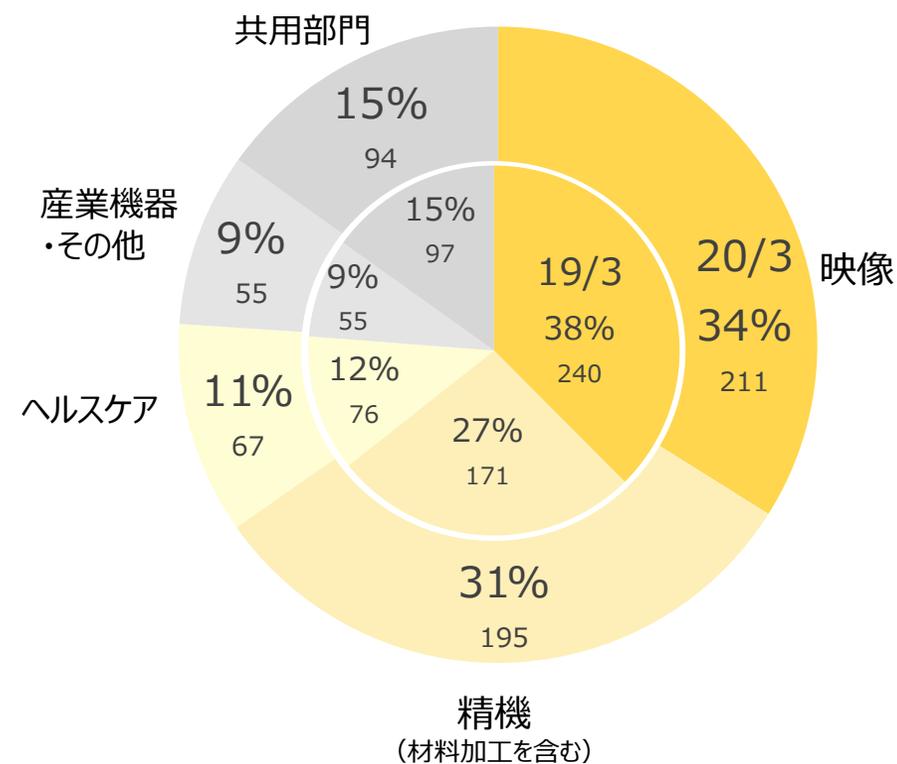
注：外円は「2021年3月期Q1売上収益647億円」の内訳、内円は「2020年3月期Q1売上収益1,429億円」の内訳を表示

## 研究開発投資



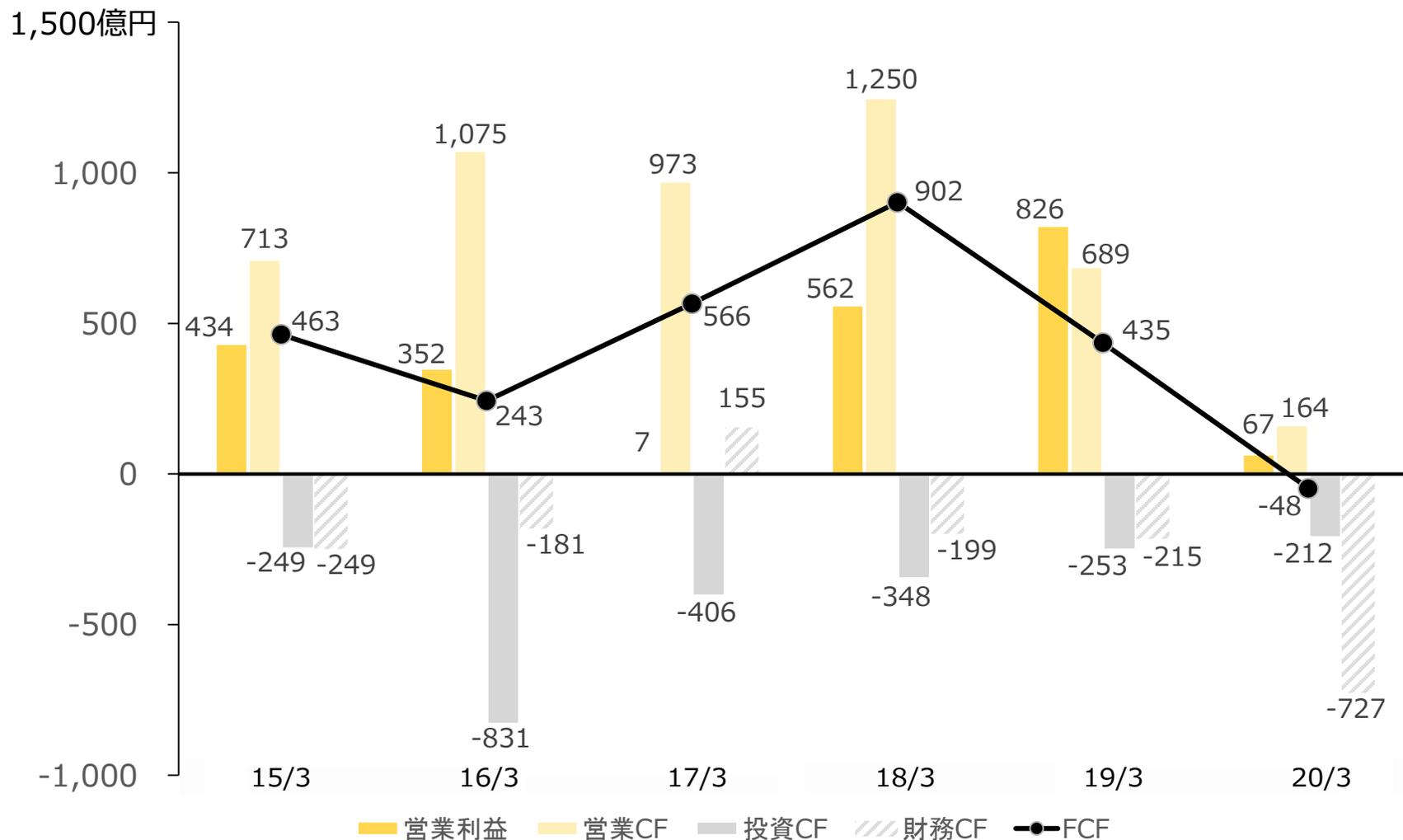
## 研究開発投資内訳

単位：億円



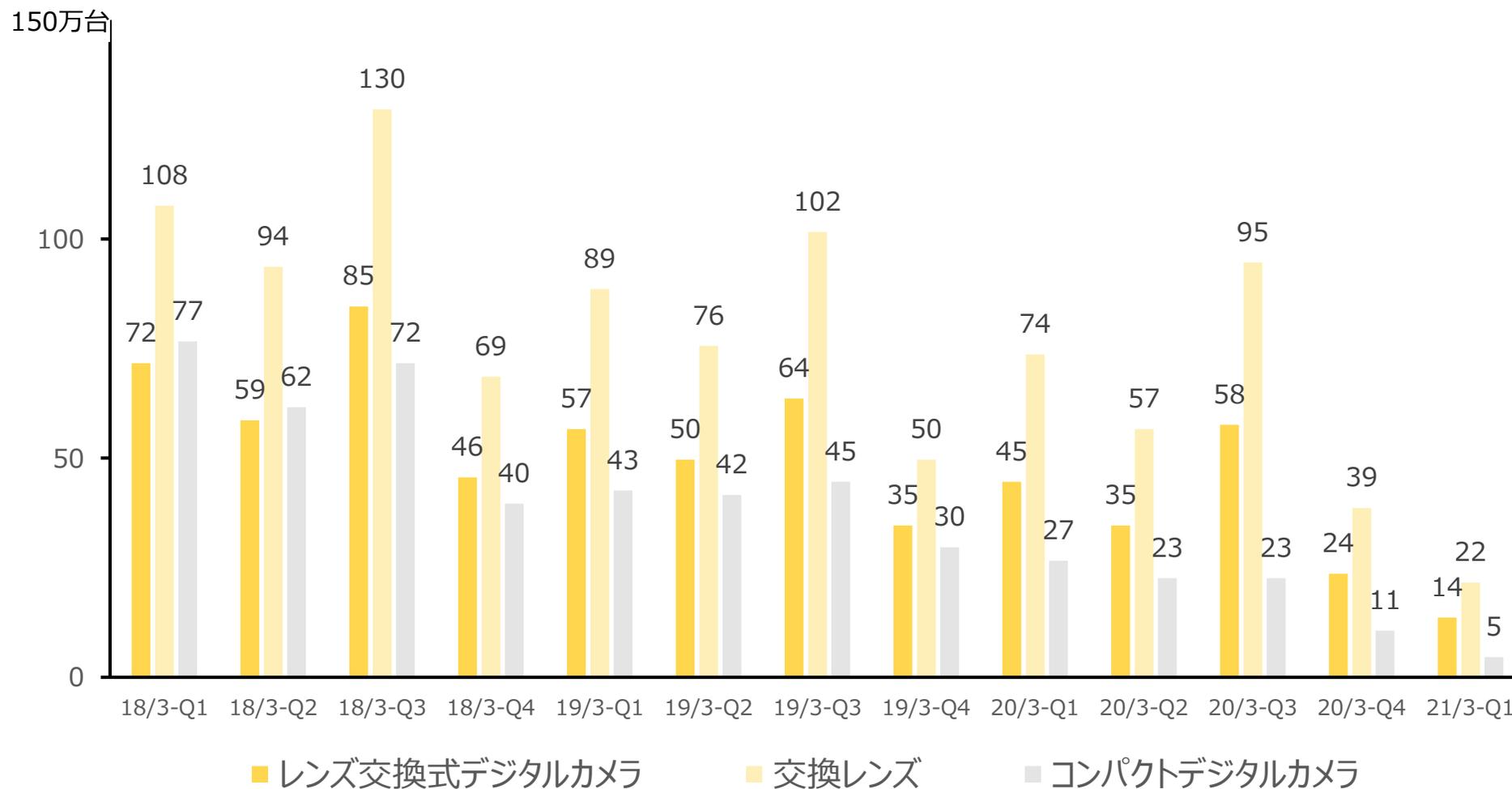
注：「研究開発投資」には、2018年3月期以降に行っている開発投資の一部資産化も含めて表示、2021年3月期見直しは前期並みをベースに精査中の為、非開示

# キャッシュフロー推移



注: FCF (フリーキャッシュフロー) = 営業CF + 投資CF、2015年3月期以前は日本基準、2016年3月期以降は国際会計基準 (IFRS) で表示  
 FCF + 財務CF + 現金・現金同等物に係る換算差額 = 現金・現預金同等物期末残高増減

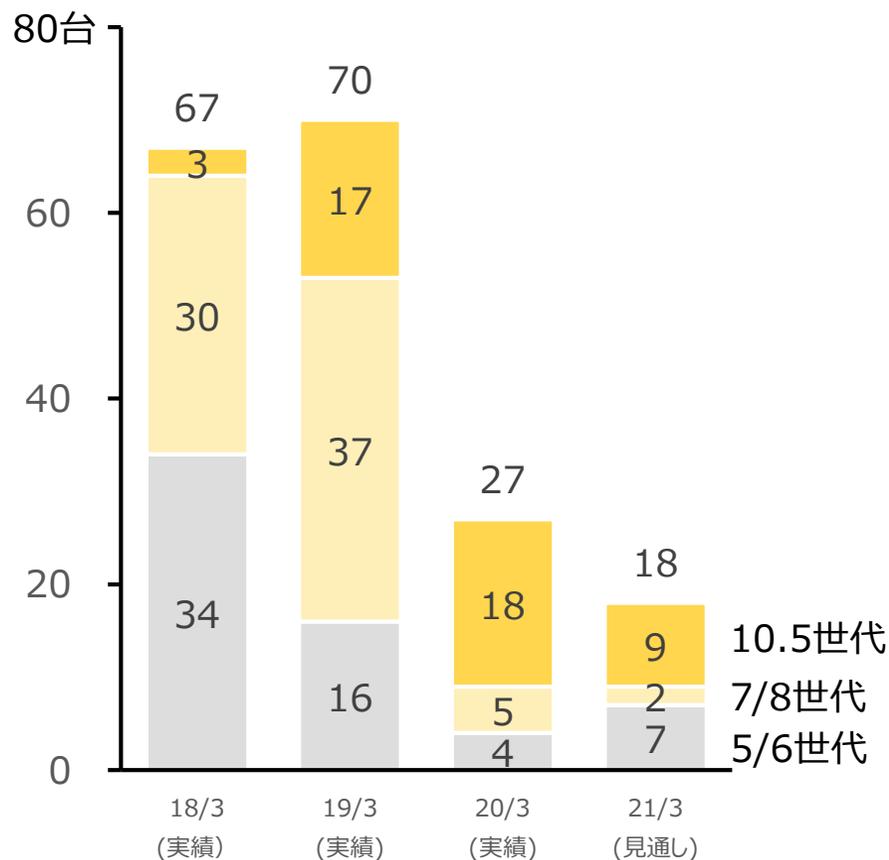
## 製品カテゴリー別内訳



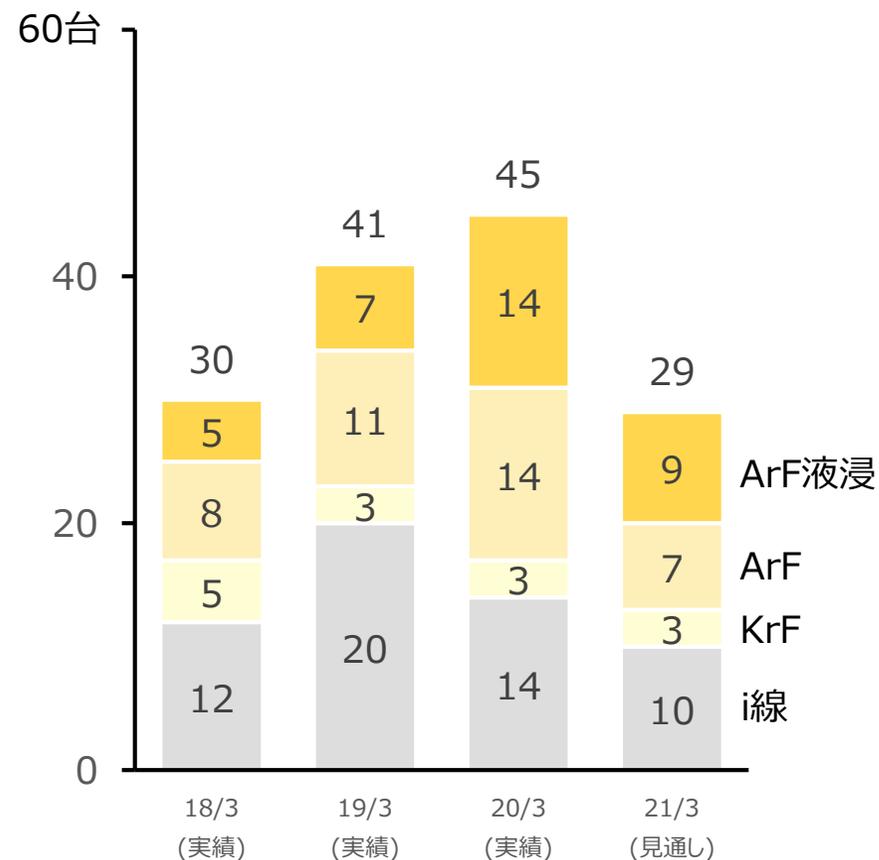
# 2021年3月期 通期見通し：精機事業 販売台数



## FPD露光装置世代別内訳

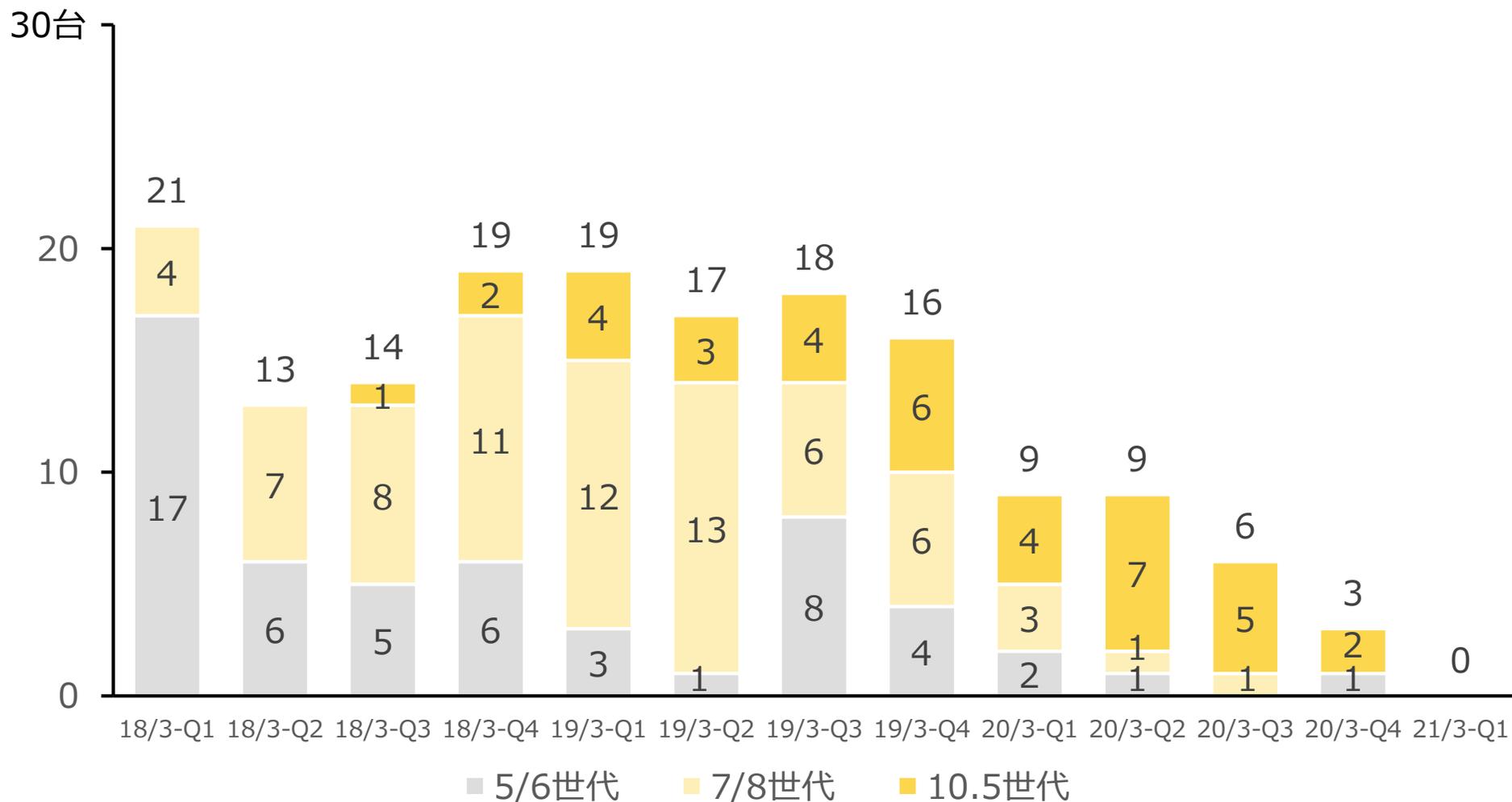


## 半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)

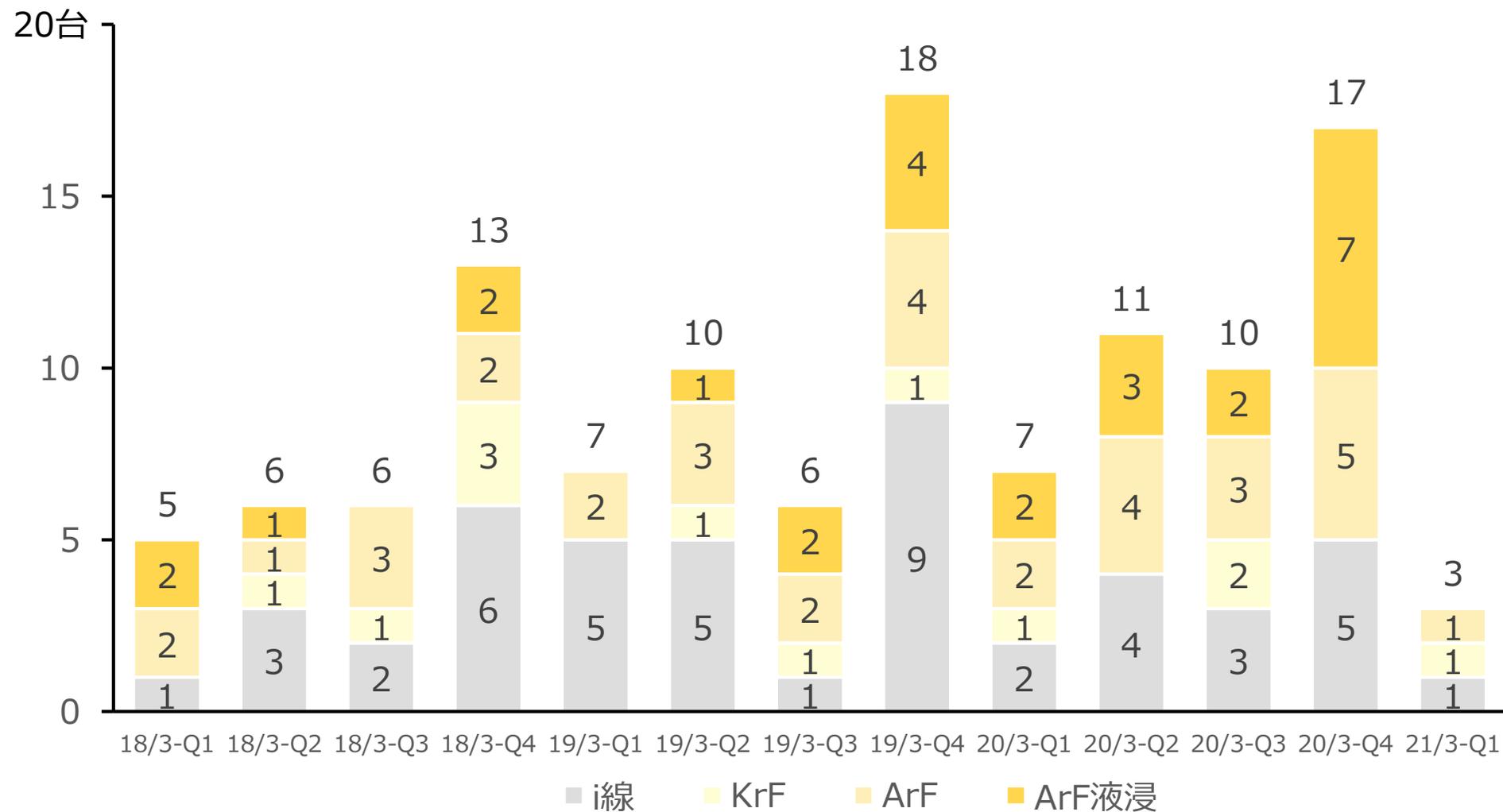


注：半導体露光装置の新品の台数は、2018年3月期は17台、2019年3月期は21台、2020年3月期は34台、2021年3月期は19台（予定）

## FPD露光装置世代別内訳



## 半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)



# 2021年3月期 通期見通し：為替の影響



	為替レート	1円の変動による影響額	
	21年3月期 Q2～Q4前提	売上収益 Q2～Q4	営業利益 Q2～Q4
USドル	105円	約15億円	約2億円
ユーロ	115円	約5億円	約2億円

注：上記は新興国通貨がUSドル、ユーロに連動することを想定

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください

